

資料提供

扱い：7月2日記者発表
終了後解禁

令和3年6月30日



担当課	産業政策課
担当者	入山、小林
電話	(073) 435-1040
内線	3003

glafit株式会社と和歌山市が共同申請し認められた 「車両区分を変化させることができるモビリティ」 に関する記者発表について

glafit株式会社と和歌山市が、glafitバイクの自転車走行に関する実証実験を、国の「規制のサンドボックス制度」に共同申請した件について、これまでは原動機付自転車として扱われていたグラフィットバイクが、「自転車モード時には自転車として取り扱われること」を、全国で初めて警察庁から認められることとなりました。

つきましては、その内容について、以下のとおりglafit株式会社と和歌山市が共同で記者発表を行います。

- 日時 令和3年7月2日（金）午前10時30分から
- 場所 日比谷国際ビル コンファレンススクエア8D
(東京都千代田区内幸町2丁目2-3 日比谷国際ビル8階)
- 出席者 glafit株式会社 代表取締役 なるみ ていぞう 鳴海 禎造 様
和歌山市長 尾花 正啓
内閣官房 成長戦略会議事務局
規制のサンドボックス制度 政府一元窓口 参事官補佐 はぎわら なる 萩原 成 様

【glafitバイク】



【電動バイクモード時】

【自転車モード時】



(参考)

規制のサンドボックス制度とは、国（内閣官房）が行う事業であり、革新的な技術の実用化や新たな商品・サービス実現の可能性を検証し、実証により得られたデータを用いて規制の見直しにつなげるものです。